

リノベーションで手に入れる  
私らしい「巢まい」のかたち

# トリノス

to-re-no-su



[Vol.23] 2013年 秋・冬号

「暮らしを味わう」



暮らしを、つなぐ。

Anest one

# トリノスとは…？

名古屋でリノベーションを手掛ける株式会社アネストワンが  
年に2回、春と秋に発行している季刊誌です。  
2012年10月、Vol.20まで続いた「Re+<アール・イー・プラス>」から  
「トリノス to-reno-su」に名前を変えて新しく生まれ変わりました。  
アネストワン (Anestone) の名前の由来でもある「nest」は  
日本語で「鳥の巣」、同時に「心地良い空間」という意味も持っています。  
また「トリノス」の「リノ」はリノベーションの「リノ」。  
「トリノス」では、「リノベーション」で手に入れた「心地良い空間」を  
皆様にご紹介していきたいと思ひます。  
是非お手にとって、じっくりご覧下さい。



## 目次

[特集] 暮らしを味わう、道具とごはん	02
・ 食堂 café Takemoku(名古屋市東区店舗)	06
・ Kippis(名古屋市郊外マンションT様邸)	07
・ Contadino(名古屋市緑区戸建O様邸)	11
・ nola(春日井市戸建A様邸)	15
リノベーションの始め方	17

# 特集 暮らしを味わう、道具とごはん

リノベーションを選択される方の多くは、自分たちが暮らす空間はもちろん、日々の食事や食卓まわりの道具にもこだわりをお持ちです。  
そこで今回は対談企画として、おいしい「ごはん」を日々提供している 食堂 café Takemoku(カフェタケモク)のオーナー・木上さんご夫婦、「食卓まわりの道具」を扱うシオガマアパートメントスタイルの店長・林さん、そして「住まい」を提案する私たちアネストワンの代表・青山が、それぞれの分野のスペシャリストとして『暮らしを味わう、道具とごはん』と題し、暮らしと食について語り合いたいと思ひます。



「住まい」のスペシャリスト  
アネストワン 代表・青山

おいしい「ごはん」のスペシャリスト  
食堂café Takemoku  
オーナー・木上さんご夫婦

「食卓まわりの道具」のスペシャリスト  
シオガマアパートメントスタイル  
店長・林さん



暮らしを味わう、  
道具とごはん

**青:**まず「暮らし」と「食」を語る上で、ダイニングの空間って重要ですね。タケモクさんではカフェの椅子にカリモク60のKチェア(※1)を採用されていますが、どうしてこれを選ばれたのですか？

**タケモク・木上(以下、木):**初めて見た時に一目惚れして、いつかお店を持ったら使いたいと思っていました。食事のしやすさと座り心地のバランスがちょうど良いかなと。またこのKチェアをカウンターに置きたいという理想があったんです。混んでいるお店なんかに行くと、申し訳なさそうに「カウンターしか無いんです」と言われることがありますよね？うちの店ではカウンター席を特別な席にしたかったんです。

**青:**なるほど。ところでシオアパ(※シオガマアパートメントスタイルの略)さんでもKチェアを扱っていますよね。アネストワンのお客様にも人気のソファですが、どうしてカ

リモク60シリーズを扱うようになったんですか？

**シオアパ・林(以下、林):**男性のためのセレクトインテリアショップとして誕生したシオアパにびびったりだったからです。「男性は、品質はもちろんストーリーを語ることができるものが好きだ！」というオーナーの考えのもと、地元で作られ続けていて50年近くもの歴史があるカリモク60の販売店になることは自然だった気がします。パーツ交換ができるなど、使う人が長く付き合っていけるというのも扱う理由のひとつです。

**青:**品質の良いものをメンテナンスしながら長く使うという考え方、私たちが提案しているリノベーションと通じるものがありますね。だからアネストワンのお客様にもファンが多いんだと思います。



(※1)  
カリモク60 Kチェア  
(モケットグリーン)

**林:**タケモクさんに質問ですが、飲食店に導入される場合、お手入れのしやすいブラックの合皮を選ばれる方もいらっしゃるのですが、モケットグリーンを選ばれた理由を教えてください。

**木:**緑が好きという事もあるのですが、購入する時に10年使ったクッションを見せてもらって、へたり具合とか色の落ち着きがいいなと感じました。ずっと使っていて汚れたとしてもそれが味わいとなって歴史になるというか、その価値観を大事にしていきたいと思います。

**青:**いいですね。毎日触れる家具や空間の部材が時を重ねていく事で、色や形がその人に馴染んで経年変化をしていく。そういった味わいを楽しみながら自分らしく暮らすスタイルを、アネストワンでも提案していきたいですね。

続いて林さん、木上さん、それぞれ調理道具に関して何かこだわりはありますか？

**林:**これは岐阜県関市のスミカマというメーカーの包丁(※2)で、私も数年前から愛用しています。段々と手に馴染んできてより使いやすくなりました。品質が良いので、この包丁1本だけで何でも料理しています。



(※2)  
スミカマ 霞32層

**木:**僕もそう。本来は食材によって使い分けの方がいいのですが、1本でまかなう方がより「マイ包丁」として大切にできる気がします。長年使って刃の小さくなった包丁を研ぎながら大切に使用している昔気質の職人さんを見ると、カッコいいなあと思います。今はステンレスの包丁が主流なので、それに比べると鋼を使った包丁は手入れが大変ですが、ずっと使い続けられるものを大切にしたいと思っています。

**林:**包丁1本から、その人の歴史が感じられそうですね。

**青:**手間のかかるものほど、きっと愛着もより強く湧くんではないですか？

**林:**シオアパへ来られるお客様も、長く使えるように素材や手入れの仕方まで気にされる方が多いです。

**青:**ずっと使うことを考えると真剣に選びたいですからね。家具も調理道具も、本物の素材で作られている事や、使い込む事によって愛着が感じられるものが商品を選ぶポイントという事でしょうか？

**木:**もともと僕ら2人とも和食器が好きで、お店でも使えるといいなと思って集めていたんです。他にも実際に瀬戸の工房まで見学に行って、時間をかけて選んできたものも使っています。料理を出す際は、同じテーブルでもあえて違うデザインの器に盛り付けると、女性のお客様は特に反応して喜んでくれますね。

**林:**すごく分かります。見た目でも味わうというか、より美味しく感じられる気がするんですね。

**青:**食事も「脳」ですから、なんて言われたりしますからね。シオアパさんでは食器についてどんな事にこだわっていますか？

**林:**このアデリア60のコーラグラス(※3)は石塚硝子というガラスメーカーのもので、大量生産ではなく実は職人

の手作りで1つ1つ作られているんですよ。

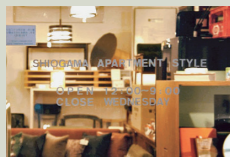
**木:**ほんとだ、よく見ると線が入っていますね。

**林:**実はこれ、成型過程で型を外際に出来てしまう跡なんですけど、この跡こそ手作りの証なんです。毎年秋にはお客様と岩倉市にある石塚硝子の工場へ行き、制作過程を見て頂くイベントも企画しています。商品が出来上がった様子や背景を間近に感じて頂き、愛着をもって大切に使用していきたいという思いを伝えたくて。



(※3)  
アデリア60  
ルックコーラグラス

**青:**その気持ち、分かるなあ。実はアネストワンでも『ちゆこりノ講座』というものを提案していて、その中で工房見学に行く機会もあるんですよ。ものづくりに対する職人さんの思いを実際に見て頂くのは、私たちが説明するよりもずっと説得力がありますよね。



## SHIOGAMA APARTMENT STYLE

〒468-0058 名古屋市天白区植田西3-105-2F  
TEL:052-806-4228  
OPEN:12:00~21:00 水曜日定休  
ウェブサイト:http://www.sa-style.jp/

塩釜口(名古屋市天白区)のアパートに暮らす男性のためのセレクトインテリアショップとして2003年にオープン。場所は住宅街の雑居ビル2階。家具や食器など、地元製のアイテムも多くセレクトし、オープン当初から愛知県産の家具「カリモク60」の正規販売店です。

スタッフによる塩釜口駅周辺のおすすめマップも配布中です。ぜひ遊びにきて下さい！



(※1)カリモク60 Kチェア  
愛知県にある刈谷木材で50年間製造されている、カリモク60ブランドの原点とも言える一脚。モケットグリーン生地は、公共交通機関の乗り物で使われている座面と同じ生地で作られています。



(※2)スミカマ 霞32層  
大正5年創業、岐阜県関市で刃物製品を作り続けている老舗メーカー。鋼とステンレスを重ね合わせてつくられており、霞模様とよばれる層が見えるのが特徴的です。



(※3)アデリア60 ルックコーラグラス  
愛知県岩倉市にある石塚硝子の工場、ひとつずつ職人の手によって作られているグラス。名前の通り、もともとコーラを飲むために誕生したのだそう。

木:作り手の顔が見えるものって安心しますし、それは実際に口に入れる食べ物に関しても同じ事が言えると思います。

青:タケモクさんではオーガニック野菜を中心に料理を出されているとの事ですが、どんな所から仕入れているんですか?

木:実は僕の実家がある滋賀で両親が野菜を作っていて、それを送ってもらって使っています。無農薬で作っている事もわかっているので安心して使うことができますし、昔ながらのやり方で作られたものの方が、やっぱり「本物」なんだと思っています。

青:手間暇掛けて育てた野菜を使い丁寧に調理する事で、自信を持ってお客様にいいものを提供できますよね。タケモクさんのご飯は何を食べても味が美味しいのはもちろんですが、見た目おしゃれで目でも楽しめます。盛り付け方のコツがあれば、ぜひ伝授して下さい!

木:こんな感じでしょうか? (...早速見本を作って下さいました:右上図参照)料理は何でも良いので、普段と違う盛り付けを試してみたいかがでしょうか。使う小皿の量が多いと洗い物が大変なんですけどね。(笑)

青:その手間も含めて「食卓を楽しむ」という事で。それでは最後に、お二方それぞれの「暮らしと食」の考え方について聞かせてもらえますか?

林:暮らしの中で大切にしたいのは「自分が良いと思っ

カフェタケモクさんに聞く  
盛り付けポイント!



陶器の大口に種類の違う小皿を並べて、  
ワンプレート風に盛り付けていただきました。

- 小皿は高さの違いを意識してレイアウト。
- 一種類は直接大口に盛り付けると、バランス◎
- 全て陶器で統一せず、ガラスなど違う素材のものもMIXするとおしゃれ。
- 季節によってお皿を変えたり、料理とお皿の色のコントラストで美味しそうに見せるのもポイント!

たものが、良いんだ」という感覚です。食べるものにはもちろん、調理道具にもこだわりを持つと料理するのが楽しくなりますし、食事の時間もより豊かになると思います。シオアパに来て下さるお客様にも、そういったご提案をしていきたいです。

木:僕も一緒に考えですね。心をこめて作った料理を居心地の良い空間で味わい、家族や仲間と幸せなひと時を過ごしてもらいたい。そのためのちょっとしたスパイスとして、食材に関しては言うまでもなく、器やBGMのセレクトなどこれからもこだわり続けたいと思っています。

青:業種は違っても、お二方の考え方にはとても共感できます。居心地の良い空間で食事を楽しむ、それだけで

も豊かで幸せな暮らしが出来るのではないのでしょうか。私たちアネストワンも、リノベーションすることで居心地の良い空間を提供するのももちろん、毎日の食事や生活が今まで以上に楽しく幸せになるような「暮らし方」のご提案までしていきたいですね。

木上さん、林さん、今日は貴重な時間を頂きありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。



(写真上)窓際のソファ席が一番人気。柄違いの模様ガラスが配された窓からは、外からのやさしい光が降り注ぎます。



(写真左上)カリモク60のKチェアが並ぶカウンター一席。キッチンとの距離感が程よく、一人で来てもゆっくりと過ごせるお勤めの席です。  
(写真左下)店内奥の席は段差をつけてモルタル仕上げの床に。手前側の無垢フローリングと雰囲気が変わり、色々な使い方が出来そう。

## 食堂 café Takemoku ( ショクドウ カフェ タケモク )

筒井商店街の一角に新しくオープンした食堂caféの設計・施工を手掛けさせて頂きました。

オーガニック料理を出すお店に相応しいよう、木やタイル・漆喰など温かみがある本物の素材を使った店内に。また全席がソファ席なのは、ゆっくりと料理やお茶を味わってほしいという店主のこだわり。

オーガニック野菜を使い、季節感のあるヘルシーでボリュームのあるメニューを提供する、女性にも男性にも嬉しいお店が誕生しました。



住 所: 愛知県名古屋市東区筒井2丁目2-3  
バンペール31-1F  
営 業: [月-金]11時半-15時,18時-22時半  
[土日祝]11時半-22時半  
定休日: 火曜日 TEL: 052-982-8737







憧れのコンクリート製のキッチンで、毎日の料理を楽しく作られているT様。リビング側にも収納扉を付けて、お客様用のコップなどを収納しています。石張りのようなタイル壁の向こうは子供部屋となっており、ガラス窓を設けて光が届くようになっています。

## Kippis (名古屋市郊外マンションT様邸)

料理をつくること、食べること、お酒を飲むこと、音楽を聴くことが大好きな施主のT様ご家族。親子3人でも余裕で作業ができるオリジナルのコンクリートキッチンを中心とした、ダイニングとキッチンスペースにこだわったリノベーションです。

ダイニングからキッチンまでの壁には、石張りのようなタイル仕上げ、天井はナラのパネリングを張るなど、コンクリート・タイル・木・漆喰に囲まれた、シンプルながらもちょっとだけエスニックな要素を散りばめた食・住をとことん楽しむ空間に仕上がりました。

### T様ご家族の紹介

30代のご夫婦と3歳の息子さんの3人家族。晩酌をしながら好きな音楽を聴いたり、友人を招いて食事会をするなど、コミュニケーションを大切にされています。リノベーションをした事によって、以前よりご夫婦ともインテリアやグリーンに興味を持つようになったとか。これから好きなものを集めて飾る楽しみも増えたそうです。







(写真左・下)コンクリート製キッチンに合わせてセレクトしたシャワータイプの水栓は、存在感抜群◎  
木目で統一したキッチン背面の造り付け収納は、パソコンデスクとしての機能も兼ねています。



(写真上)とっても仲の良いT様ご家族。将来息さんが大きくなったら、3人でキッチンに立ち料理をするのが夢だそう。



(写真上)リビングの入り口には味のあるモザイクガラスのブラケット照明を取付。奥に見える玄関には、収納量たっぷりの下駄箱をオリジナルで造作。  
(写真左)アクセントでブルーグレーの壁紙を貼った、爽やかな印象のサニタリースペース。

物件データ  
.....  
所在地:名古屋市郊外  
種別: マンション  
専有面積: 80.84㎡  
施工面積: 60.00㎡  
建築年: 1995年  
施工期間: 2ヶ月

B e f o r e



6階建てマンションの1階、東南角部屋にあるT様邸。南に面してワイドスパンで、窓の外には隣接する公園が眺められる。環境のいい物件です。リノベーションによりT様の暮らしに合った間取りやデザインに生まれ変わりました。

暮らしを味わうポイント

## 「オリジナルのダイニングテーブル」



食卓へのこだわりも人一倍大きなT様のために、アネストワンオリジナルのダイニングテーブルを作りました。無垢ナラ材のヘリンボーンフローリングを加工してつくったこだわりの一品です。お気に入りのテーブルは、毎日の食事をより楽しいひと時へと演出してくれます。





ご主人こだわりの自転車ガレージ。自転車を飾る壁にはレッドサンダーの木製パネルを貼りアクセントに。そのまま土足で上がっても良いように、床は針葉樹合板でラフに仕上げ、一部を土間にすることで自転車のメンテナンスがしやすいように工夫しました。夜な夜な自転車の手入れやトレーニングをしたり、自転車仲間が集い語り合ったりと、O様ならではの過ごし方を楽しんでいらっしゃいます。

## Contadino (名古屋市緑区戸建の様邸)

もともと1階が喫茶店として使われていた3階建ての戸建を、O様らしい自転車ガレージのある住まいへとリノベーションしました。

喫茶店のあった1階はご主人の趣味である自転車の作業スペースと、自転車仲間が集えるようなガレージ的なスペースに。プロジェクターで映画を見たり、自転車談義をしたりと遊びの空間に生まれ変わりました。

また2階をLDK、3階を各個室に。LDKは無垢の床や漆喰の壁など自然素材をメインに、TVボードやPCカウンターなどを一体とした造作家具を壁一面に配し、一体感のある空間となりました。さらに奥様こだわりのキッチン収納やタイルや羽目板など、キッチンまわりのスペースが空間に彩りを与えています。



(写真左)壁にプロジェクターを直映して、大好きな映像を見たり自転車の映像を見たり…。自転車仲間が集まった時には、次の試合の作戦会議を開く事もよくあるのだそう。  
 (写真右上)以前の喫茶店だった頃の面影を残したカウンターは、そのまま引き継いで使用。愛車を眺めながら飲むコーヒーは格別なのだから。  
 (写真右下)細かな作業をしたりパーツを収納するために、デスクカウンターと棚を造作。工具を吊り下げているパンチングボードは、あえて緑色に塗装してアクセントに。





(写真上)奥様の要望を全て詰め込んだ対面キッチン。タイルの色味、羽目板を使った腰壁、厨房をイメージしたステンレスの壁、お気に入りの食器や調理器具を置く飾り棚など、料理をする時間も毎日の楽しみのひとつに。  
 (写真右2枚)リビングからキッチンを見た時に、飾り棚やステンレスの壁、タイル全てが見えるようにしたいというご希望で、食器棚はあえて足元に作り付けました。リビングの壁は漆喰、床は無垢のナラフローリングで仕上げ、居心地の良い空間に。



### 〇様ご家族の紹介

毎日往復30kmの自転車通勤はもちろん、シクロクロスという自転車競技にはまっておりレースにも出ているほどの自転車マニアなご主人。  
 仕事も子育てもこなしながら、週末には趣味のバドミントンも欠かさず楽しんでいる、明るく活発な奥様。  
 仮面ライダーや恐竜ジャージが大好きで、最近はキッチンのお手伝いもしてくれるようになったという3歳の元気な息子さん。  
 それぞれの趣味も家族の時間も大切にしながら、家族3人仲良く過ごされています。



(写真上)外壁はツートーンに塗り分けてメリハリのある外観に。自転車を出し入れしやすいように引戸に取り替えました。  
 (写真左)以前の生活では、自転車をメンテナンスする騒音で奥様が寝られないことがあったそうですが、今は1階のガレージで好きなだけ自転車を触れているとのこと。お互い自分の時間を気持ちよく持てるようになったのが、暮らしの上で大きく変わったようです。

物件データ  
 .....  
 所在地:名古屋市長区  
 種別:戸建  
 延床面積:190.87㎡  
 施工面積:101.00㎡  
 建築年:1995年  
 施工期間:2ヶ月

### B e f o r e



チラシで見つけた軽量鉄骨造3階建の中古戸建物件。1階は喫茶店、2・3階が住居の店舗併用住宅でした。そこは施主〇様がよく通っていた喫茶店だったのです。立地条件や希望の間取りが可能であること、何より馴染みの店という安心感もあり、購入を即決しリノベーションすることになりました。

### 暮らしを味わうポイント 「こだわりの キッチンツール」

リノベーションを機に、あこがれのキッチンツールを揃えてより快適に料理を楽しんでいる〇様ご家族。  
 豆から挽いたこだわりの珈琲は、ケメックスのコーヒーメーカーでハンドドリップするのがご主人の日課に。丁寧にドリップした珈琲をお気に入りの空間で味わうひとときが、毎日の暮らしの中で幸せを感じる瞬間だそう。







(写真上)ステンレスの清潔感と木の温もりを組み合わせたオリジナルキッチンが、スタイリッシュ過ぎず素朴な雰囲気がお気に入り。

## nola (春日井市戸建A様邸)

1979年に建てられた旧耐震基準の木造戸建住宅。ここに耐震補強を施して、安心・安全な住まいへとリノベーションしました。

「食」に関する仕事をされている奥様こだわりのオーダーキッチンは、空間に馴染むよう木目を基調としたデザインに。また食器や食料品が大量に収納できる造り付けの食器棚や隣接するパントリーを設け、より快適に料理を楽しめるようにプランしました。

ちゃぶ台を中心としたリビングなど「和」の要素も取り入れた、素朴で温かな空間に生まれ変わりました。



(写真左2枚)この家に住むと決めた時から、リビングにはちゃぶ台を置いて床に座った生活をしようと思っていたのだそう。床暖房を入れたので、冬でも温かく快適に過ごされています。



物件データ  
 .....  
 所在地:春日井市  
 種別:戸建  
 延床面積:106.52㎡  
 施工面積:63.31㎡  
 建築年:1979年  
 施工期間:2ヶ月

### B e f o r e



前の住人が丁寧に暮らしていたことがわかる手入れされたお庭や、建物の雰囲気がお気に入り、こちらの中古物件を購入してリノベーションすることに。

後から分かったことですが、実はこちらの物件は偶然にも学生の頃お世話になった恩師のお宅だったそう。リノベーションによってこうした縁が出来たのも、嬉しい出来事だったようです。

(写真右2枚)食器や調理道具をたくさんお持ちのA様。食品のストックや使用頻度の少ない調理器具は隣接したパントリーに、普段使いのものはキッチンや背面に造り付けの食器棚に仕舞えるようにプランしました。リビングから見える上部の飾り棚には、お気に入りの雑貨や植物をディスプレイして楽しんでいるそう。



### A様ご家族の紹介



畑仕事や釣りなど、自然と触れ合うことがお好きな30代同級生のA様ご夫婦。リノベーションの「昔からの良い家を壊さず、その時住む人が心地良いように形を変えて住む」という考え方に共感し、アネストワンへ依頼下さいました。家庭菜園や保存食づくりなど「食と自然」をテーマに、毎日の生活を丁寧に過ごされています。

### 暮らしを味わうポイント

## 「保存食づくり」



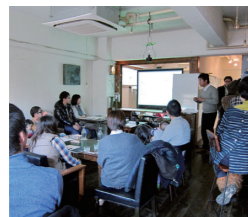
奥様が「食」に係わる仕事をされていることもあり、毎日の食事にもこだわりをお持ちのA様。なかでも「保存食づくり」がお好きだそうで、海外旅行にもお手製の味噌を持っていったとか。自分たちが畑で作った無農薬野菜や季節の食材を上手に取り入れながら、毎日の食卓を豊かで幸せな時間になっています。



# リノベーションの始め方

アネストワンではリノベーションを考えている方に向けて、このような形でサポートしています。イベントなどの詳しい情報はホームページにて随時更新しておりますので、ぜひ一度ご覧下さい。

## ○ちゅこリノ勉強会に参加する



中古物件購入+リノベーションをお考えの方を対象に勉強会を開催しています。リノベーションの基本的なことから物件探しのコツ、資金計画についてなど、スライドで分かりやすく解説いたします。

## ○リノベーション相談会で詳しく聞く



理想の住まいや暮らしについて一緒に整理しましょう。毎週土曜日に開催しておりますが、平日でも受付可能ですのでお気軽にご相談下さい。  
【※事前にご予約を承っております】

## ○「ちゅこリノ講座」でさらに詳しく学ぶ

アネストワンでは、リノベーションの過程をより詳しくお伝えするために、『ちゅこリノ講座』を提案させて頂いております。理想の暮らしを具体的にイメージしたり、実際にものづくりの現場へ足を運び体感して頂き、私たちと一緒に学びながら、自分たちらしい家づくりをしていきましょう。  
【※詳しくは相談会にてご案内致しております】



### ちゅこリノ講座

- ・『夢ノート』ワークショップ
- ・施工中現場見学会
- ・OB宅訪問見学会
- ・工房見学会
- ・『夢ノート』完成 閉講パーティー

ご希望の方には…

### ファイナンシャルプラン相談会

自分たちが一体どの位の家を持てるのか、家づくりのトータル的な予算をイメージするための費用を計算し、ライフプランナーが分かりやすくアドバイスします。

## リノベーションSTART!!

物件探しやローンの審査についてサポートをさせて頂いたり、現地に同行して調査をしたり…  
実際に物件が決まったら、これからの暮らし方をお話し、その内容を基にプランの提案をさせて頂きます。

## 経年してこそ価値のあるもの。

味のあるものが好きだ。

空間にしても、家具にしても、靴、カバン、食器…

様々なものに対してその感覚はいつもあります。

経年とともにあめ色に変色した木であったり、

当時のレトロなタイル、錆びついた小さなドアノブ…

そんな、時を経るほど、味わいや奥行きが出てくるようなモノたちに

本当に魅力を感じます。

そういったモノの中に共通することは、「本物」だということ。

例えば家具に関していうと、引っ越すたびに買い換えるようなものではなく、時を経て色褪せない、子供にも譲れるようなものにこそ価値があると思います。

それは、アネストワンのリノベーション空間にもいえることです。

アネストワンの考えである、「心地よく・本物で・温かみのある空間」

の提供はそんな考えのもと、生まれました。

奇抜さやスタイリッシュさではなく、流行にとらわれず

長く使い続けることで、より味わいが出てくるような

素材であたたかな空間の提供。

本物の素材を使い、時を経ても色褪せない

時を経るほど奥行きが増えていく空間デザインを提案しています。



※ご来店の際は、事前に日時をご予約の上お越し下さい。お待ちしております。

お問い合わせは右記フリーダイヤルまで ☎ 0120-65-2441  
9:00～18:00 定休日：日曜・祝日

アネストワンの施工エリアは原則として、オフィスから車で30分圏内とさせて頂いております。お客様と末永いお付き合いとアフターメンテナンスを行っていく為にもエリアを限らせて頂いております。色々なケースがありますのでエリア近郊の方はお問い合わせ下さいませ様よろしくお願致します。(詳しくはアネストワンのホームページ『施工エリア』をご覧ください。)



## 株式会社 アネストーン

アネストーン一級建築士事務所

〒465-0018 名古屋市名東区八前2-713

Tel: 052.777.2441

Fax: 052.777.2647

Mail: [mail@anestone.com](mailto:mail@anestone.com)

Url: [www.anestone.com](http://www.anestone.com)

愛知県知事許可(般-25)第102480号

- 
- リノベーション・デザインリフォームの設計・施工  
[ マンション・戸建・店舗・オフィス ]
  - オリジナルキッチン・家具のデザイン・製作
  - 注文住宅設計・施工
- 

暮らしを、つなぐ。

# Anestone

お問い合わせは右記フリーダイヤルまで  
9:00～18:00 定休日:日曜・祝日



0120-65-2441



詳しい施工事例はホームページにて

アネストーン

検索

<http://www.anestone.com>